

陸

上競技の中距離走を専門とし、昨年8月に開

かれた全国教育系大学陸上競技大会の800メートルでは自己ベストを更新して初優勝を飾った。「当日は調子が良く、最初からずっと前でレースを引っ張りました。記録も順位も狙っていたので、かなりうれしかったです」と笑顔で振り返る。その4日後に出場した近畿地区国立大学体育大会でも優勝し、関西学生陸上競技対校選手権大会では目標としていた決勝進出を果たすなど、昨年は飛躍のシーズンとなった。

陸上を始めたのは、中学に入ってから。当時は400メートルが中心で、高校時代に顧問の勧めで中距離に転向し、部の方針から長距離の練習も重ねた。大学でも競技を続けるかどうか悩んだ末、同じ種目の先輩との出会いが決め手となり陸上競技部に入部。「先輩からはレース運びや練習方法など、多くの影響を受けました」。また、顧問の小田俊明准教授(行動開発系教育コース)の指摘でフォーム改善に取り組んだことも実を結び、入学以来、タイムは順調に伸び

ている。

800メートルをメインに位置付けているのは、中学時代に短距離で培ったスピードと高校時代に鍛えた持久力の両方を生かせるからだという。「速いスピードのまま、最後の最後まで競り合うところが魅力です。ラストの勝負ところで『負けたくない』と闘争心が湧くところが好きですね」

将来は、中学校で昔から好きだった数学を教えながら、陸上部の顧問として指導することを希望している。「陸上は中学で本格的に始める子が多く、ゼロの段階から教えて伸ばすことができると思うので。練習をさばると結果に顕著に表れる競技ですから、子どもたちには自分に負けず、何事も諦めないことの大切さを伝えたいです」と力を込める。

一方、選手としての来シーズンの目標は、日本学生陸上競技対校選手権大会出場。そのためには、今の自己ベストを1秒半ほど縮めて標準記録を突破する必要があるが、達成できると信じ、シーズンオフの現在も日々トレーニングを重ねている。

自己ベストを更新し
上のステージで
勝負したいです

キラリな人
SHINY PERSON

いわさき 涼さん

学校教育学部
自然系コース2年

平成8(1996)年、小野市生まれ。26(2014)年に県立三木高校を卒業し、入学。所属する陸上競技部では1年の秋から中長距離部門のパート長を務め、昨年11月にはキャプテンに就任した。800メートルの自己ベストは1分53秒96。



第53回近畿地区国立大学体育大会の表彰式